

敵

一九〇〇

三人のソフィストがコンスルを出迎えた。

コンスルは三人を傍に座らせた。

懇慫に話したが、後になると、

冗談めかして用心しなよと言った。「名声は羨みの種を撒く。

ライバルたちが本を書いている。きみらには敵がいるよ」。

一人がまじめに答えた。

「わたしどもと同世代の敵は大丈夫でございます。

わたしどもの敵は後から来るのでございます。新手のソフィストどもです。

われわれが老いさらばえて、みじめに寝台に横たわり、

ある者ははやハデスに入った時です。今の

言葉とわれわれの本はおかしく思われ、滑稽にも思われましょうな。

敵がソフィストの道を変え、文体を変え、流行を変えるからでございます。

私たちも、過去をそういうふうに変えてまいりましたもの。

私らが正確、美的とするものを

敵は無趣味、表面的といたすでございましょう。

同じことを別の言い方で申すでございましょう

(別に大して苦勞は要りませぬ)。

私どもも過去の言葉を別の言い方で言い変えてまいりましたもの」。

Sophist

・ソフィスト

・若者に知識を
授ける

・きちんと謝礼はもらう

・つまり教師



Roman consul

・コンスル

・執政官

・共和政の
最高職

・軍政・軍令
両方持ち切り

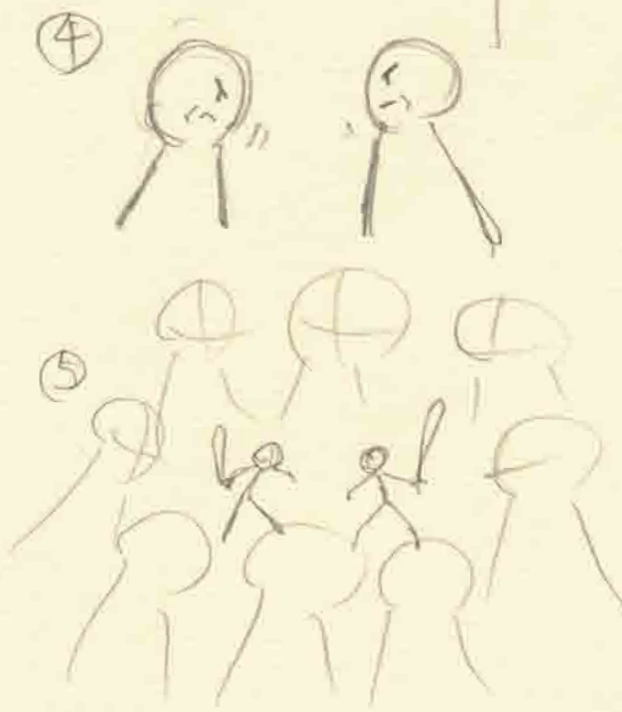
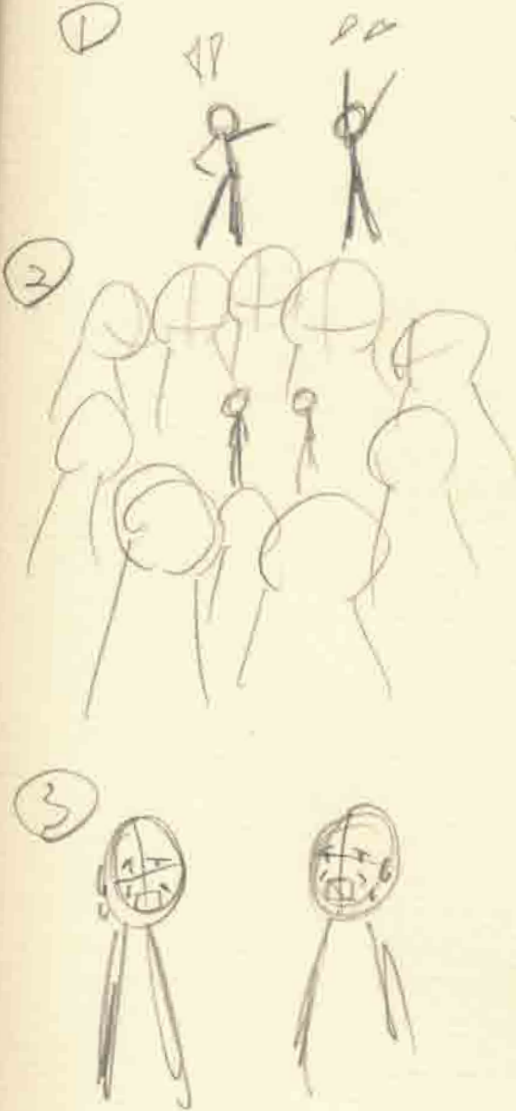


竹久全詩集「敵」P383

登場キタウ

- ヨリス (教師)
- ~~ヨリス~~ (issue)
- 若きヨリス (教師)

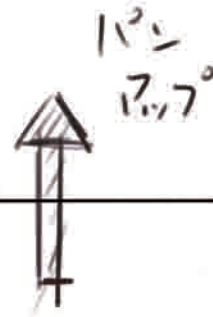
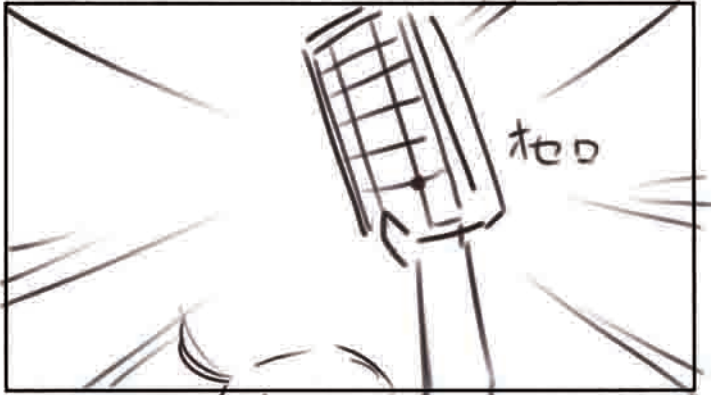
同世代が敵なのではなく
後子の若き世代が敵



- ① ヨリス同士けんかしている
- ② けんかしているヨリスの元に大量の若い世代のヨリスがくる。
- ③ おばい。
- ④ 本当の敵は...
- ⑤ 我々の世代をばざうてくる若きヨリス
たの国

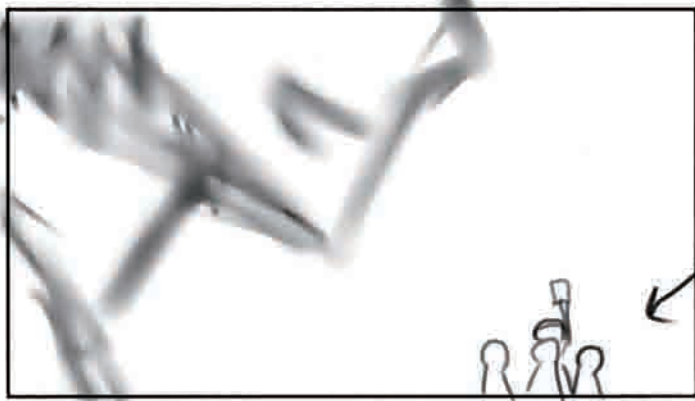



SCREEN

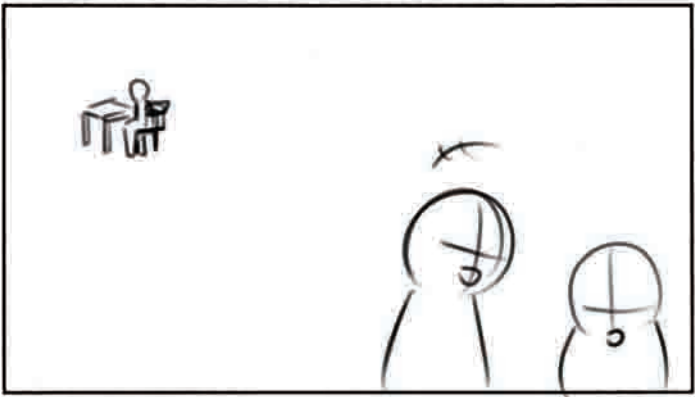

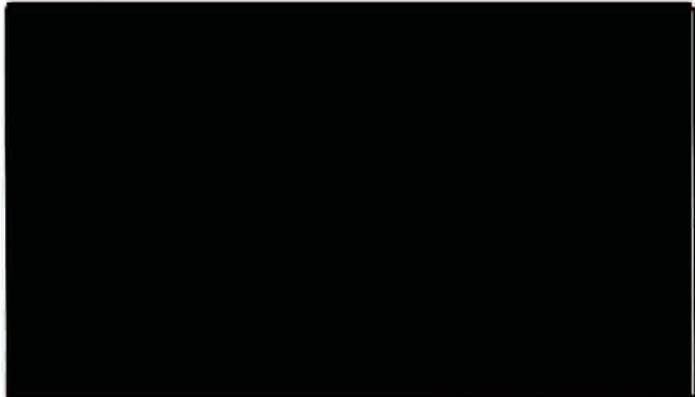
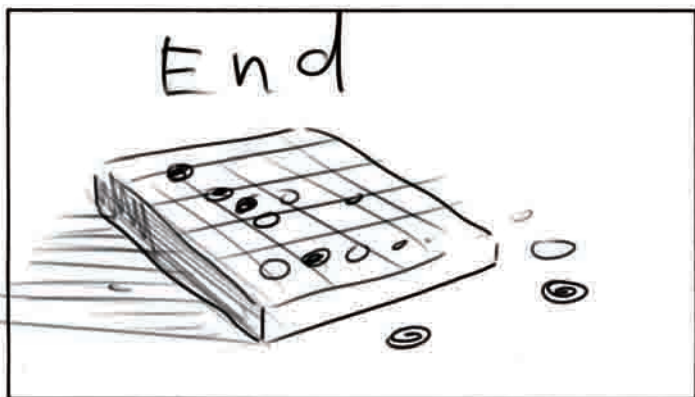
CAMERA



あいつ
キキ
キキ

SCREEN	CAMERA	
		<p>おの の</p> <p>人 が ア ー マ ウ ト シ ニ シ ク</p>
		
		
	<p>顔アップ (目は いらない)</p>	

	SCREEN	CAMERA	
		<p>に^向て 行く</p> <p>←</p> <p>全前 ほか</p>	<p>ゲーム ステーション</p>
		<p>そのま ま Pan up</p> <p>Pan up</p>	<p>△</p> <p>カメラ ステーション</p>
		<p>↑</p>	
		<p>↑</p>	

	SCREEN	CAMERA	
			<p>相 音 近 in</p> <p>↓</p>
		<p>目 近 ↑ Panup</p>	<p>相 音 近 out</p> <p>老化</p> <p>近 音</p>
			<p>↓</p> <p>黒!</p> <p>近!</p>
	<p>End</p> 		<p>相 音 近</p> <p>死</p>